報道関係者各位

2024 年 12 月 5 日
株式会社ツナググループ・ホールディングス（証券コード：6551）

短時間・単発で働くスポットワークの求人倍率は 2.54 倍
スポットワーカー平均賃金は 1,176 円、通常のバイト賃金より 17 円安い
スポットワークマーケットデータレポート（2024 年 9 月度版）

株式会社ツナググループ・ホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役兼執行役員社長：米田 光宏）を母体とする、多様な働き方の調査研究機関「ツナグ働き方研究所（拠点：東京都中央区、所長：大野 博司)」は、ここ数年で広がりを見せる「短時間・単発で働くスポットワーカーの市場」について定点観測する「スポットワークマーケットデータレポート」を毎月発表しています。
本レポートでは、2024 年 9 月度最新データについて、とりまとめましたのでご報告いたします。
※レポート詳細はこちら　https://tsuna-ken.com/research_report/202409_spotwork-9/

【トピックス】

1. **スポットワークの求人倍率は 2.54 倍。前年差+0.71 ポイントと大幅な伸び。**
2. **新規ワーク数は、前年比+3.4%。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比＋34.6%と伸長。**
3. **スポットワーカーの平均賃金は 1,176 円。通常のバイト賃金より 17 円安い。**

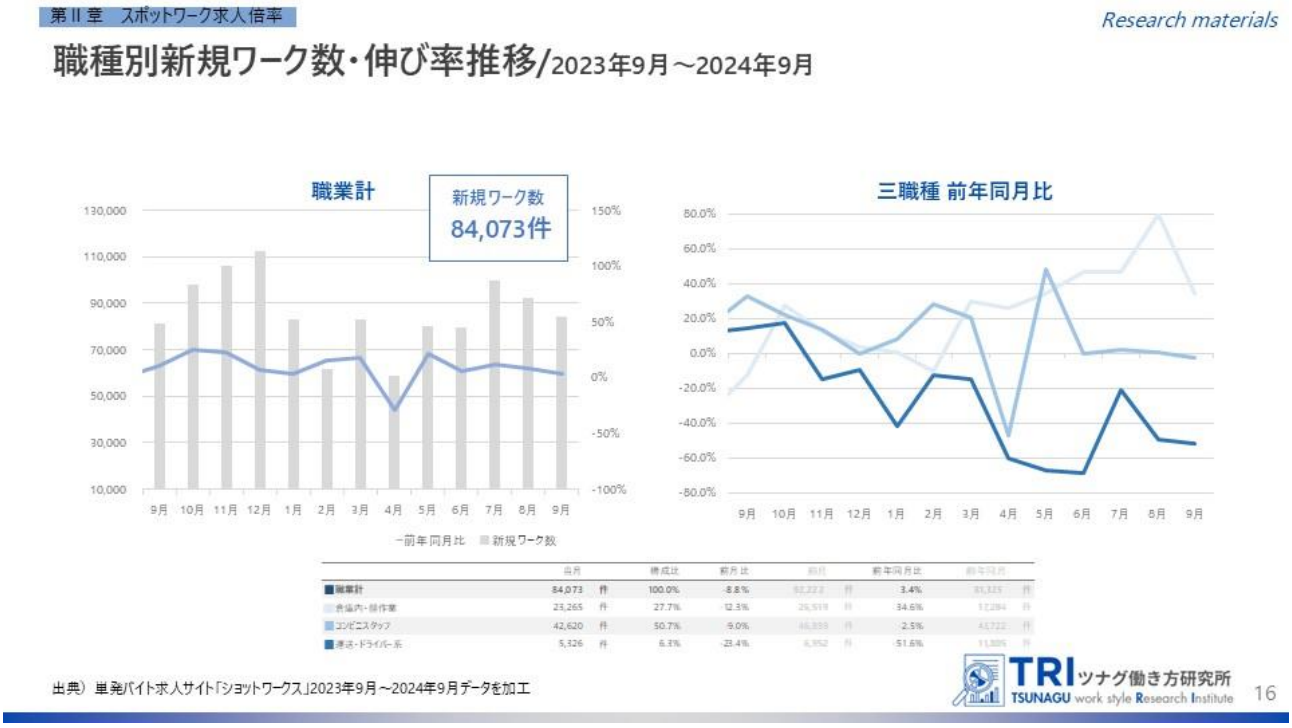
■1：スポットワークの求人倍率は 2.54 倍。前年差+0.71 ポイントと大幅な伸び。

2024 年 9 月度のスポットワーク求人倍率は 2.54 倍。前月差+0.08 ポイントで、9 月以降年末にかけてスポットワークの需要が伸びる例年のトレンド通り、前月を上回る結果となりました。前年同月差は+0.71 ポイントと、4 か月連続で前年同月を上回っています。



■２：新規ワーク数は、前年比+3.4%。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比＋34.6%と伸長。

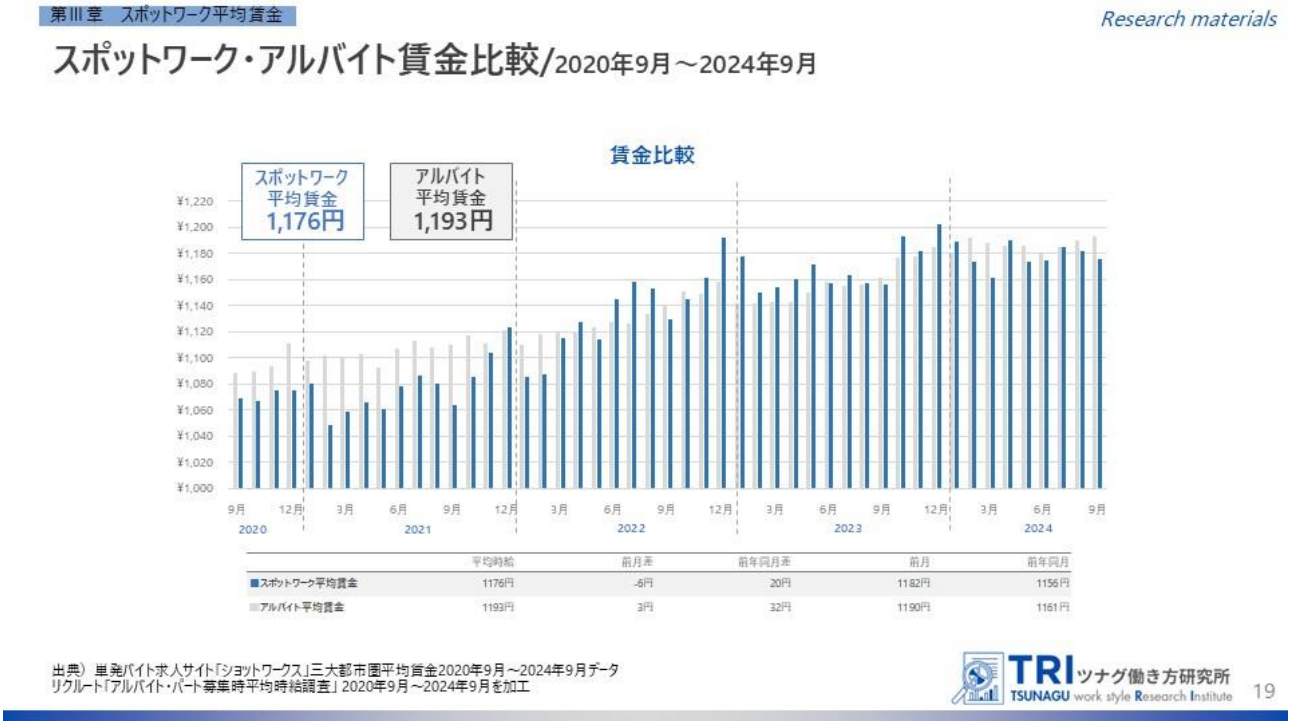
景気の先行指標とも言われる新規ワーク数は 84,073 件。前年比+3.4%と 5 か月連続で前年を上回りました。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比＋34.6%と最も伸びが高くなっています。



■３：スポットワーカーの平均賃金は 1,176 円。通常のバイト賃金より 17 円安い。

2024 年 9 月度のスポットワーク平均賃金は 1,176 円（首都圏・関西圏・東海圏の 3 大都市圏）。前月差-6 円、前年差+20 円となりました。通常のアルバイト平均賃金は 1,193 円（※リクルート発表「アルバイト・パート募集時平均時給調査」）との比較では 17 円安く、アルバイト賃金が上回っています。

主要 3 職種で最も賃金が高いのは、運送・ドライバーで 1,245 円となりました。



（出典）

単発バイト求人サイト「ショットワークス」2020 年 9 月～2024 年 9 月データ

総務省統計局「労働力調査(詳細集計)2024 年(令和 6 年)7～9 月期平均」

リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」

■スポットワークマーケットデータレポートとは

・スポットワークマーケットの定義

スポットワークとは、短時間・単発で働き「継続した雇用関係」のない働き方を指します。その中でも、雇用契約を結ばない“ギグワーク”と、単期雇用契約を結ぶ“単発バイト”の 2 種類に分類されます。（ギグワークの代表例として、ウーバーイーツ配達員が挙げられます)。こうしたワークスタイルで働く個人、活用する企業の市場がスポットワークマーケットです。

・マーケットの現状

スポットワーカーは、コロナ禍を契機に急増、今後さらに広がりを見せていくことが予見されます。
個人）働き方改革による残業規制、コロナ禍による休業や勤務時間減少で、追加就労意欲が増大
企業）生産性向上観点から、ムダやムラのない＝必要な時に必要な人数を配置する人件費最適化の高まり
技術）タイムリーかつオンデマンドなマッチを提供するスポットワーク求人事業者の参入

・定点観測する意義

総務省統計局の「労働力調査」では、2018 年から ILO 基準の「未活用労働指標」を導入しました。例えば、その中にある「追加就労希望就業者」は「広義の失業者」とも言われる労働者です。現状の就労に追加してスポットで働くことは、労働者の収入安定、すなわち広義の失業率の改善につながります。一方、マクロ的に捉えると、潜在的な労働力活用は国力の向上に寄与することになります。こうした社会的意義と接続する観点から、本マーケットを定点観測し、市場規模の動向、有益なトピック、内在する課題などを可視化するデータレポートを発信しています。

■ツナグ働き方研究所とは（https://tsuna-ken.com/）

株式会社ツナググループ・ホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：米田光宏)を母体とする、2015 年設立の多様な働き方の調査研究機関（所長：大野博司)。研究所では、企業人事や労働法制の分野で活躍する識者らとともに、施行される労働法制の要所と着眼点を解説していくほか、改正に至るまでの経過や背景も記録・分析しながら「あるべき姿」を提言。「働く」を取り巻くあらゆる労働法制の調査・研究機関として「雇用の未来」を拓きます。

【株式会社ツナググループ・ホールディングス】

社　名：株式会社ツナググループ・ホールディングス （東証スタンダード　証券コード：6551）
所在地：東京都中央区銀座 7-3-5 ヒューリック銀座 7 丁目ビル 7・8 階
代表者：代表取締役兼執行役員社長　米田 光宏
設　立：2007 年 2 月
ＵＲＬ：https://tghd.co.jp/

日本の社会課題である「2030 年労働需給 GAP 解消」を目指す、ソリューションカンパニーであるツナググループは、コンサルティング×RPO(採用代行)×データベースを基軸事業として、従業員 1,000 名を超える大手企業を中心にあらゆるソリューションを提供しております。

【報道・取材関連に関するお問合せ先】
ツナグ働き方研究所（株式会社ツナググループ・ホールディングス）
担当：和田（わだ）　Mail：tsuna-ken@tsunagu.co.jp